

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅰ-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	----------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農産園芸課長 長野正己	電話番号	0852-22-5123
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	「しまねの農産物」安全・安心システム推進事業		
目的	(1) 対象	生産者、農業団体	
	(2) 意図	農業生産工程管理（GAP）の推進により、農林水産物の生産段階における安全性の確保を図るため、GAP指導員の育成を図るとともに、生産者・産地に対する効率的な指導を実施し、GAPガイドラインに則したGAP（美味しまね認証）の実践農家数を拡大する。	
事業概要	GAPの推進を図るため、指導員の養成を行い、生産者や産地に対して、導入を働きかける。 また、農林水産省ガイドラインに準拠したGAPの取り組みと安全で美味しい島根の県産品認証制度への誘導を図る。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 新規GAP指導員数	目標値		5.0	5.0	5.0	5.0	名
		取組目標値						
	式・定義 JGAP指導員基礎研修新規受講者数	実績値	9.0	29.0				%
		達成率	-	580.0	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	534	864
うち一般財源 (千円)	534	432

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<p>「GAP指導員」は「GAP指導員基礎研修」を県内開催することにより、平成28年度29名増（別途、修了者1名）と目標を大きく上回っており、生産者・産地への指導体制強化が図られた。</p>

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> JAしまねと連携し、平成28年度に島根県GAP推進協議会が設立され、さらにGAPの推進を図っていく体制が構築された。 JGAP指導員基礎研修を県内開催した結果、研修受講者数が大幅に増加するとともに、当該研修を通じて職員のスキルアップが図られた。 関係団体への研修会に出席し、制度の解説などを行った。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> 島根県GAP「美味しまね認証制度」の認証件数は増加しているが、基礎GAPや地域独自GAPでの取り組み例も多く、GAPに全く取り組んでいない生産者も多い。
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> 島根県GAP「美味しまね認証制度」の取り組みに関して営農指導員等の指導者の理解は深まりつつあるが、産地戦略としての制度活用の検討や生産者への働きかけが不十分である。
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> JA団体等関係機関との連携による生産者への「美味しまね認証制度」の認知度向上、GAPに取り組んでいる産地への、取組内容の高度化（認証取得）に向けて引き続き支援していく。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> 人材育成をさらに重ねていく。 産地としての制度導入を図るため、関係機関などと連携を深めていく。 JAしまねと連携し、平成28年度設立された島根県GAP推進協議会の場を活用して、さらにGAPの推進を図っていく。 産直GAPの推進を図っていく。
